

Zekkeiの未来を 地域の力に!

ジュエリーアイス予測最前線と 南極観測隊員からの報告



北海道国立大学機構オープンイノベーションセンターで実施している商農工融合による三大学（小樽商科大学、帯広畜産大学、北見工業大学）連携プロジェクト「Zekkeiプロジェクト」の取り組みについて、広く地域や企業に知っていただき、皆さまとの連携をめざします。

令和5年

日時

11月28日(火)

15:30~17:15

定員

50名

参加無料

申込

右記2次元バーコード
もしくは下記URLより
お申し込み下さい。



<https://forms.gle/tS2KcfCiwi3BdzXd9>

締め切り **11月26日(日)**

場所

小樽商科大学札幌サテライト

札幌市中央区北5条西5丁目7番地sapporo55ビル3階

当日はオンラインでも配信いたします。オンラインでの参加をご希望の方も申し込みフォームから登録ください。

【お問い合わせ】

北見工業大学社会連携推進センター 三枝昌弘
E-mail: a-saegusa@mail.kitami-it.ac.jp



[講演]

1 ジュエリーアイスの 現象解明とホームページ での出現予測の公開

吉川 泰弘 (北見工業大学地域未来デザイン工学科・准教授)

北海道の広大な美しい自然に憧れて、1996年に北見工業大学に入学。北海道開発局、寒地土木研究所を経て、2012年から北見工業大学の教員として従事。寒冷地河川における治水・利水・環境・観光に関する研究に取り組み、2017年よりジュエリーアイスに関する研究に取り組んでいる。



[講演]

2 極地の観測と絶景

館山 一孝 (北見工業大学地球環境工学科・准教授、第48次、第64次南極地域観測隊夏隊員)

流氷が来るオホーツク海沿岸の雄武町で生まれ、オホーツク流氷研究所(現オホーツクガリンコタワー)、北海道大学低温科学研究所附属流氷研究施設を経て、2011年から現職にて衛星リモートセンシング技術開発のための現場観測やセンサー開発に従事。現在は流氷の蜃気楼など絶景発生予測に関する研究に取り組んでいる。



3 パネルディスカッション 「環境データ駆動・ 発見型観光」への挑戦

【ファシリテーター】 東 陽介 (帯広畜産大学)

【パネリスト】 吉川 泰弘 (北見工業大学)
大湊 亮輔 (小樽商科大学)

館山 一孝 (北見工業大学)
森山 知洋 (ベルシステム24)